



2018-2019 年度 RI 会長テーマ

RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2018-2019 年度 No.20

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125 FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2018-2019 年度 会長 坂井彦就、幹事 桧原やよい



インスピレーションになるう

(バリー・ラシン会長)

例会記録

第 1939 回例会

平成 31 年 3 月 6 日(水) よいとこ井波

1. 点 鐘 会長
2. 国歌斉唱「君が代」
3. ソング：奉仕の理想
4. 四つのテスト唱和



5. 月結婚記念日：畠中伸一会員（11 日：欠席）三谷貴志夫会員（20 日）坂井彦就会員（24 日）小西勝会員（29 日）



6. 月誕生日：桧原やよい会員（28 日）



7. 会長の時間：先日の IM、石破茂元内閣府特命大臣の講演、大変良かったです。日本の人口が 80 年したら半分になる、地方が大変、頑張ろうという事でした。さて、次年度に向けて考えると、会員増強が必要です。得永会員のよう、全く出席されない人もあり、齋藤ガバナー補佐を出すので真剣に考えましょう。
8. 幹事報告；①理事会報告：3RC 収支が出ました。砺波 26、南砺 30、当クラブ 17 の参加でした。17 万余不足があり、ニコ BOX より補填します。次年度の予定です。8/7 松本ガバナー公式訪問、2 週前、7/24 齋藤ガバナー補佐事前訪問です。会員増強についても、話が出ました。地区広報委員会からのアンケートが来ております。帰りまで返答して、事務局に渡してください。②例会変更は事務局まで確認の事。
9. 出席委員会 18 名中 10 名出席 (55.56%)
10. 委員会報告：なし。
11. **ニコニコBOX**(SAA：本日 8 名)
穴田ガバナー補佐：IM 登録参加有難う御座いました。
坂井会長：結婚祝いに感謝、34 周年です。

小西会員：先日の IM 大変有意義でした。横山先生、日展の入場券有難うございます。結婚祝いに感謝、46 年目です。

桧原幹事：誕生祝に感謝、横山豊介先生、日展招待券有難うございます。

齋藤会員：横山先生、日展のチケット有難うございます。先日の石破さんの話、面白かったです。会長の発表も良かったです。お疲れ様でした。

三谷会員：月結婚記念日、年老いたもの、元気・無事を思うのみ。これからもよろしくお願ひします。

高瀬会員：横山豊介先生、日展招待券有難う御座いました。

山本武夫会員：横山豊介先生、日展富山展の招待券を有難う御座いました。創立 40 周年記念誌、少しづつ原稿をお願いしました。宜しく。



卓話「日展」横山豊介会員



横山豊介会員：(日展富山展の招待券を出席者に配布された)日展は、東京の本展覧会以外には、地方にはあまり出展してない。地方では、大阪・京都・北陸(石川・富山)くらいだ。なぜなら入場者が少ないと開催できにくい。そういう意味から、地場産業のある石川・富山・京都・名古屋が有力。たまに、松山などで開催しても、お客が少ない。日展も地方に根を張って、底辺を拡大していかねば、発展につながらないと考えている。

第 1940 回例会

平成 31 年 3 月 13 日(水) よいとこ井波

*点 鐘 会長

*ソング：我等の生業

*4つのテスト唱和

*ゲスト：中家立雄氏(南砺市地域包括医療ケア部次長・地域包括ケア課 課長) 勇崎香志氏(南砺市市民協働部南砺で暮らしません課協働のまちづくり係 副主幹)



*会長の時間：中家様、勇崎様ようこそ。卓話よろしくお願ひ致します。午前中、庄川中生徒 11 名(うち、義務教育 9 年で無欠席が 2 名)に精勤賞を授与してきました。午後から、齋藤副会長に井波中学校に精勤賞授与に出席してもらいます。4/10 の創立 40 周年記念祝賀会も近づいてきました。3/27 には、役割分担を決める C.A.も予定しています。宜しくお願ひ致します。

*幹事報告：①例会変更は事務局に確認してください。

*出席委員会 18 名中 10 名出席 (55.56%)

*委員会報告：①社会奉仕委員会(長谷川吉美委員長)：先日、第 2 回地区クラブ社会奉仕委員長会議がありました。年度の目標の達成率や活動報告をしないとイケません。②創立 40 周年記念誌担当(山本武夫)：記念誌の写真を、3/27 例会で撮影したいと思います。ネクタイ、バッジ着用で出席してください。

*ニコニコBOX(SAA：本日 3 名)

坂井会長：庄川中学校の精勤賞表彰式に参列、凛々しい姿に感動しました。

桧原幹事：中家様勇崎様本日はようこそ。卓話楽しみです。

山本武夫会員：地域包括ケアの中家課長様、ようこそ。40 周年記念誌の準備中、皆様の写真、お願ひします。

卓話「ご存知ですか？『地域包括ケア』」

南砺市地域包括ケア課 課長 中家立雄氏



長谷川吉美会員（紹介者）：先日の IM でも、人口減少や超高齢社会の事が話題になり、自分の住む南砺市もどうなっていくか心配です。若い女性の減少から、2060年には、南砺市の人口が今の4割になるそうです。本日は、南砺市地域包括ケア課の中家課長さんに今後の事も含めどのように考えていったらいいかお話をお願いしました。よろしくお願ひ致します。



中家立雄氏（スライドを勇崎副主幹が担当。各自にスライドテキストを配布された）：南砺市地域包括医療ケア部地域包括ケア課の中家です。所属名が大変長いので、皆様に大変迷惑をおかけします。

本日は、今盛んに超高齢社会で、高齢者の方が増え、さらには要介護者の方が増えていく中で、どうやって支えていくかが検討されています。現在の南砺市の取り組みを合併当時から振り返って、お話しさせていただきます。

井波には、公立井波総合病院があり、そこで全国にも先駆けて“在宅医療”が始まりました。訪問看護ステーションが立ち上がり、平成の合併で、南砺市民病院と南砺市介護福祉支援センターに引き継がれ、現在は、平野部では24時間在宅看護のできる地域として、全国からも注目されています。南砺市行政としても、病院・福祉・保健のすべてを「地域包括医療ケア部」としてまとめました。井波高校跡地に、「南砺市地域包括支援センター」を開設し、在宅ケア、リハビリ、医療・介護・福祉、健康づくりを一体的・体系的に提供できる施設となりました。

包括医療・ケアを提供するためには、人材育成が重要で、地域医療再生マイスター養成講座を開設、すでに430名ほどを養成しました。また、地域医療を守り育てる会を発足、各地で指導を重ねています。南砺市医師会では、地域医療連携部会を多職種で開催しています。

南砺市の地域包括ケアシステムは、安心して暮らせる街の姿・町ぐるみで支えあう仕組みを目指し、生活支援・介護予防の強化と、自立支援型ケアマネジメントとの連携を図ろうとしています。

その中で、「5つのまちづくり規範」として、

- ① 幸せに生涯を過ごせる協働のまちづくり
- ② 健康寿命を伸ばし、互いに支えあい、独居・老々世帯も安心して暮らせるまちづくり
- ③ 地域包括医療・ケア（地域包括ケア）で家族の絆と地域の絆を結ぶまちづくり
- ④ 介護が必要になっても、家族と共に安心して暮らせ、自宅で穏やかな死を迎えられるまちづくり
- ⑤ 一人暮らしの認知症の方が笑顔で暮らせるまちづくり

を提唱しています。

「介護予防・日常生活支援総合事業」を進めていますが、南砺市内では現在、訪問型サービスAは2事業所、通所型サービスBは、「大鋸屋ひらすんま会」と、本会の得永忠雄君の世話する「北部かようまいけ館」の2事業所、通所型サービスCは、3か所、訪問型サービスCは1地域です。その他の一般介護予防事業は、脳健康教室が2か所、週1サロンが、補助あり10か所、補助なし12か所で実施中です。

今回「小規模多機能自治」が動き出そうとしています。小規模（昔の小学校単位：現在の自治振興会単位）で多機能（地域の課題解決に結びつく多面的な活動：イベント・サービス：経営へ）自治（住民主体の自治）を目指すものです。五箇山相倉地区のように、移住が移住を呼び、若者が増え、活気が出てきたところもあります。地域住民による助け合いへの構築に向けて、提言させていただきました。

会報・写真：山本、HP：山本